

ピストンダンパー

(遠隔復帰型)

ピストンレリナー
型番：P g S - 3 0 7

取扱説明書

■ 仕様

- ・ 使用ガス : 消火用ガス (CO₂等)
- ・ ガス圧力 : 最低 1.4 MPa ~ 最高 3.0 MPa
- ・ ピストン・ストローク : 70 mm

■ 概要

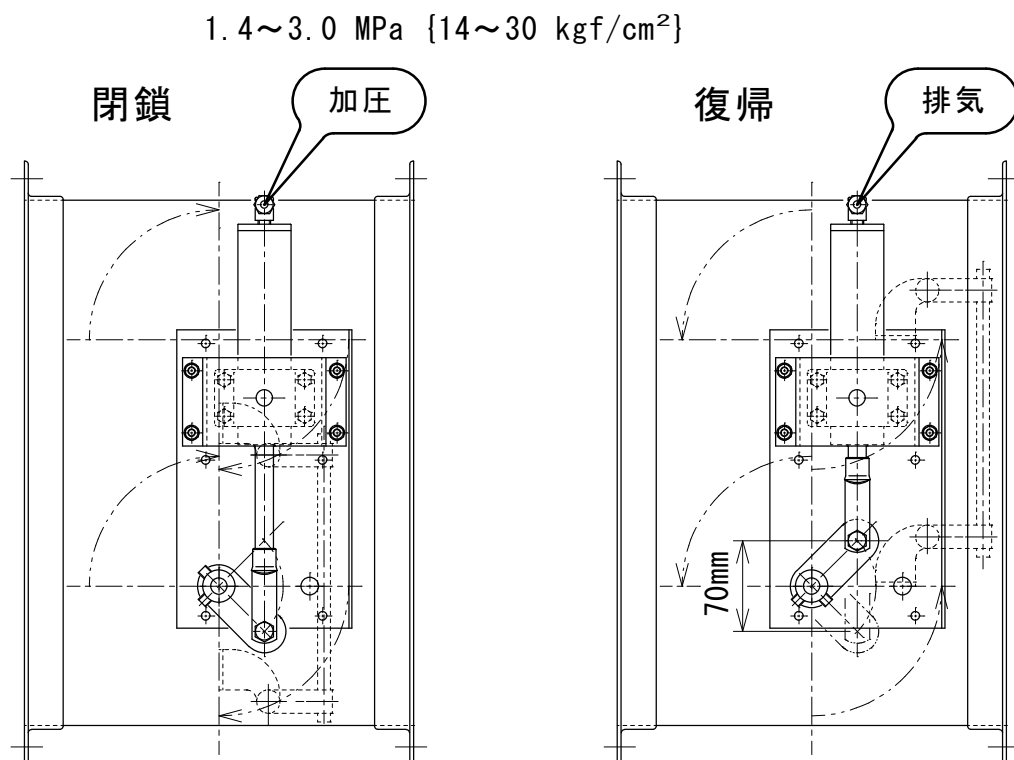
ピストンダンパーは、ケーシング、可動羽根及びピストンレリーザーからなりピストンレリーザーにより自動的に閉鎖する構造で、防火機能が確実です。

ピストンレリーザーは、消火用ガスにより駆動される構造で、復帰操作は遠隔にて復帰できます。

■ 閉鎖・復帰説明

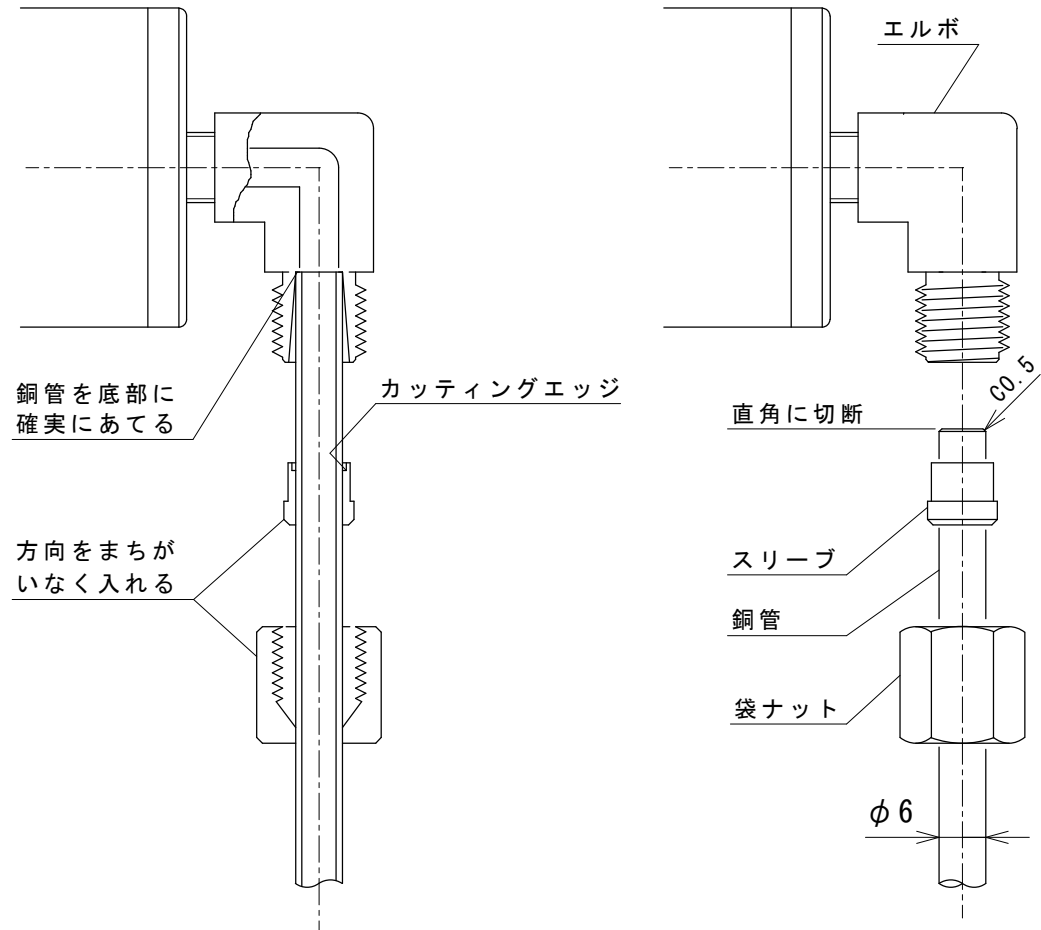
閉鎖 : ピストンレリーザーに、炭酸ガス (CO₂) 等の加圧ガスを送り込むことによりダンパーは閉鎖します。

復帰 : ピストンレリーザー内の加圧ガスを排気すれば、シリンダー内に内蔵されたリターン Springs の復帰力により、ダンパーは自動的に復帰します。



■ 継手の組立要領と注意事項

1. 配管材は外径φ6軟質銅管を使用して下さい。
2. 銅管の先端はほぼ直角に切断して下さい。
3. 組立の順序をまちがえないこと。特にスリーブを反対に入れて締付けると洩れて役にたたず、また、スリーブは再利用できません。

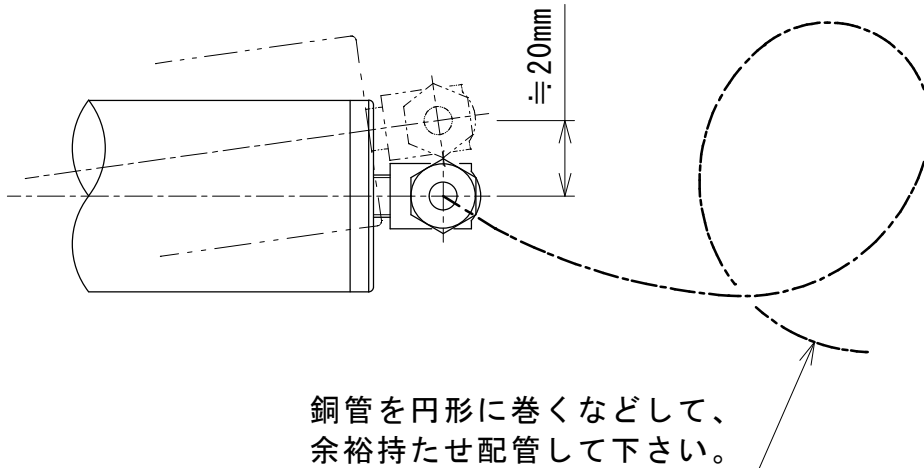


■ 締付要領

1. 組立要領図を参照し、銅管に袋ナット、スリーブを組付けて下さい。
2. エルボに銅管を挿入し、銅管の端をエルボの底部に突きあてる。
3. 銅管が動かないようにナットをスパナでまわしながら締めつける。
4. スリーブがくい込み、スパナの締め付けが重くなった箇所から $1\frac{1}{4}$ ~ $1\frac{1}{2}$ 回転程度ナットを締めつけるとスリーブのカッティングエッジが銅管に完全に食い込み、締め付け終了です。

■ 配管時の注意

ピストンレリーザーはピストンの前後運動によりダンパーの開閉動作をしますが、その時ピストン運動にともないシリンダーヘッド（配管部分）部が円弧運動をします。そこで配管作業時には下図のように銅管にある程度のゆとりを持たせて配管して下さい。



■ 施工例

